



Hope Lights Our Way. 希望の道を、つなごう。

4月20日(火)、^{つるいみひろ}釣井観広さん(14歳・粟生)が、東京2020オリンピック聖火リレーのランナーを務め、“希望”の聖火を繋ぎました。新型コロナウイルス感染症の影響で、延期になってしまった聖火リレーでしたが、1年越しの期待と緊張、そして、感謝の気持ちを胸に、活き活きと走り切りました。

聖火のトーチにみんなでタッチ！

5月10日(月)に、おおとよ小学校で行われた朝礼では、観広さんの聖火ランナーとしての想いや、観広さんのお父さんから、聖火リレー様子のお話を聞きました。

特別に、観広さんが実際に持って走った聖火のトーチに触れたり、聖火ランナーの衣装やグッズを見たりしました。「思ったより軽かった!」「持って走るには、ちょっと重たい」など、みんなそれぞれの感想を持っていました。トーチは真上から見ると、桜の型になっているなど、実物を見て知ったこともありました。

聖火リレーの映像を見た6年生は、志をもって聖火ランナーやり遂げた観広さんの姿だけでなく、聖火リレーのためにたくさんの方が関わっていることも知り、感謝の気持ちの大切さに気付いていたようでした。



聖火のトーチは、
今後、豊永郷民俗資料館にて
展示される予定です。

高知県内の情報
ポータルサイト



大豊町の
広報も
掲載中!

Kochi
ebooks

高知イーブックス 検索